

大阪・関西万博（EXPO2025）開幕！ —日本館・名誉館長からのメッセージ—

弁護士知財ネット専務理事
弁護士 伊原 友己¹

1 「大阪・関西万博、見てある記！」の連載開始

本誌令和6年（2024年）10月号（No.265）で、「万博と知財」という万博特集を組んで頂き、その巻頭において中山信弘先生²から知財アカデミックな視座で万国博覧会と知的財産（以下「知財」といいます。）の関係についてご解説を頂きました。次いで小松陽一郎弁護士知財ネット（以下「知財ネット」といいます。）元理事長には、昭和45年（1970年）万博世代のおじいちゃんと孫との心温まる会話を軸とした短編小説？を披露して頂きました（当職は、本万博のアクションプランをご紹介しました。）。この特集が幸いにも読者からご好評を頂きましたので、「万博と知財」の第二弾として、本号から本年10月号まで、知財ネットのメンバーが実際に万博会場（夢洲）に足を運んで、さまざまな展示やイベントを見て歩き、それを紀行文として知財の観点も少し絡めて各人各様に気ままにビジュアルに（肩の凝らない記事として）まとめてレポートするという企画をスタートさせることにしました。

題して「大阪・関西万博、見てある記！」です。本誌の読者の皆様方におかれましては、本年10月号の末吉互知財ネット前理事長の総括レポートまで、宜しくお付き合い下さい。

2 さあ開幕！

- (1) さて令和7年（2025年）4月12日（土）、夢洲の万博会場（EXPOホール）に天皇・皇后両陛下並びに本万博名誉総裁である秋篠宮皇嗣殿下・紀子妃殿下をお迎えして、賑々しく開会式がとり行われました（一般来場者を迎えるの開幕は翌13日（日））。会期は10月13日までの184日間です。メインテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」であり、158の国と地域、7つの国際機関が参加しています。



（建設が進む万博会場にて）

1 日弁連知的財産センター平成26年度委員長、現副委員長
2 東京大学名誉教授・日本学士院会員